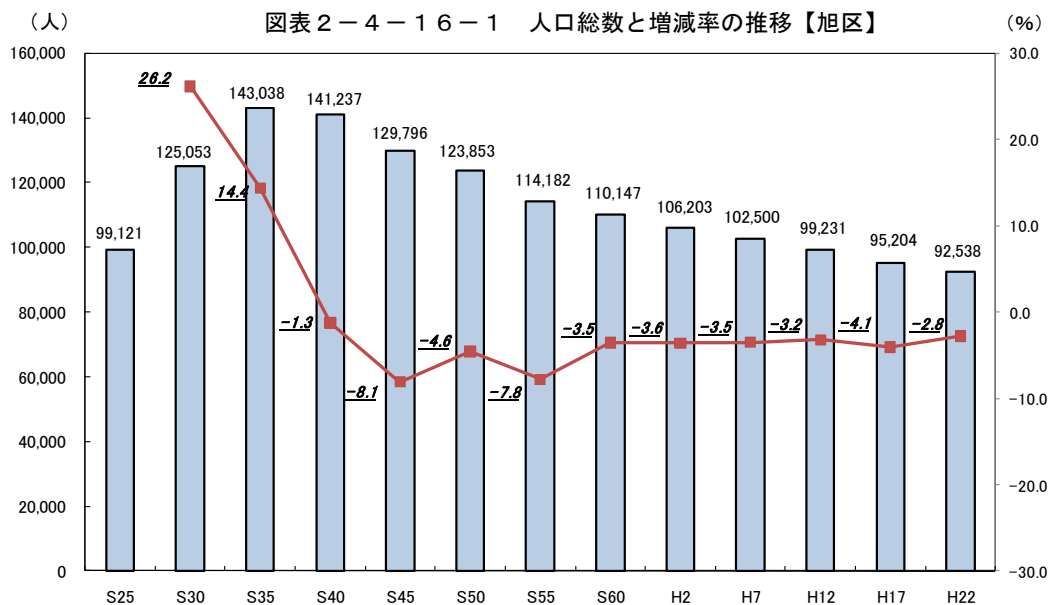


## < 16 > 旭区

### 1. 人口の推移

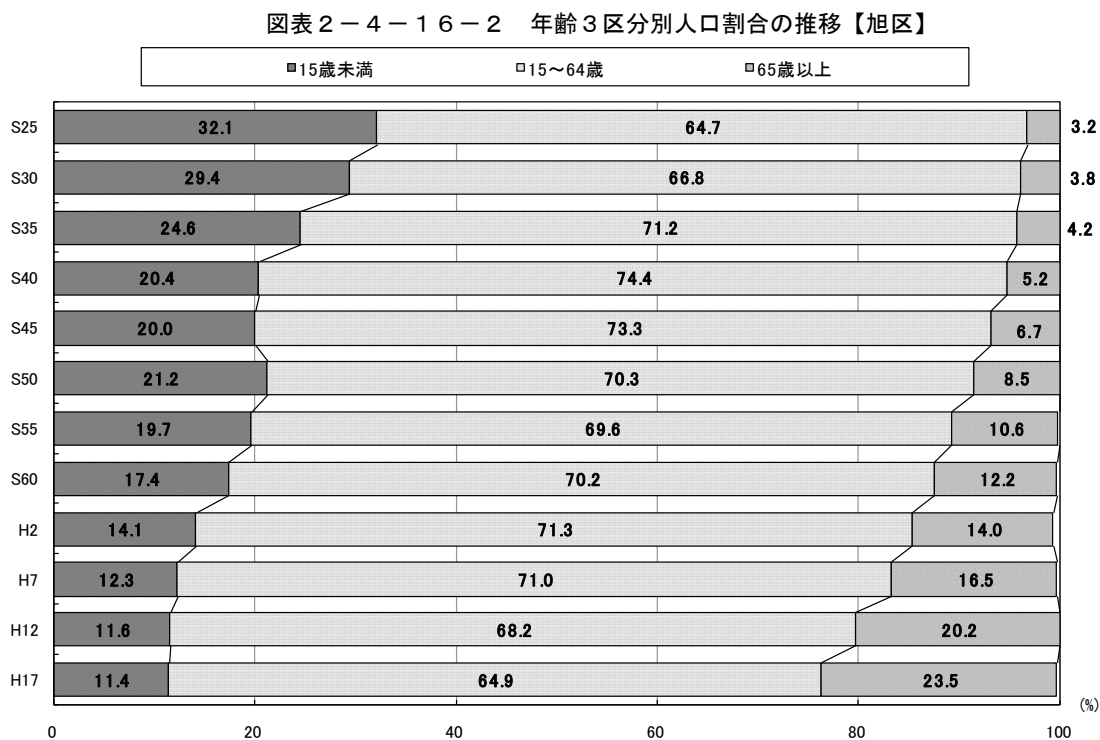
・昭和35年にピーク。その後大幅な減少が続き、昭和60年からほぼ一定の割合で減少。



資料：国勢調査 ※H22は速報値

### 2. 年齢3区分別人口割合の推移

・平成17年では24区中2番目に老年人口割合が高い区となっている。



資料：国勢調査

注：年齢「不詳」を含むため、合計値が100%にならない場合がある。

### 3. 自然動態

・平成4年に初めて自然減少に。以降、出生数減と死亡数増で自然減少数は拡大傾向。

図表2-4-16-3 出生・死亡・自然増減数の推移【旭区】

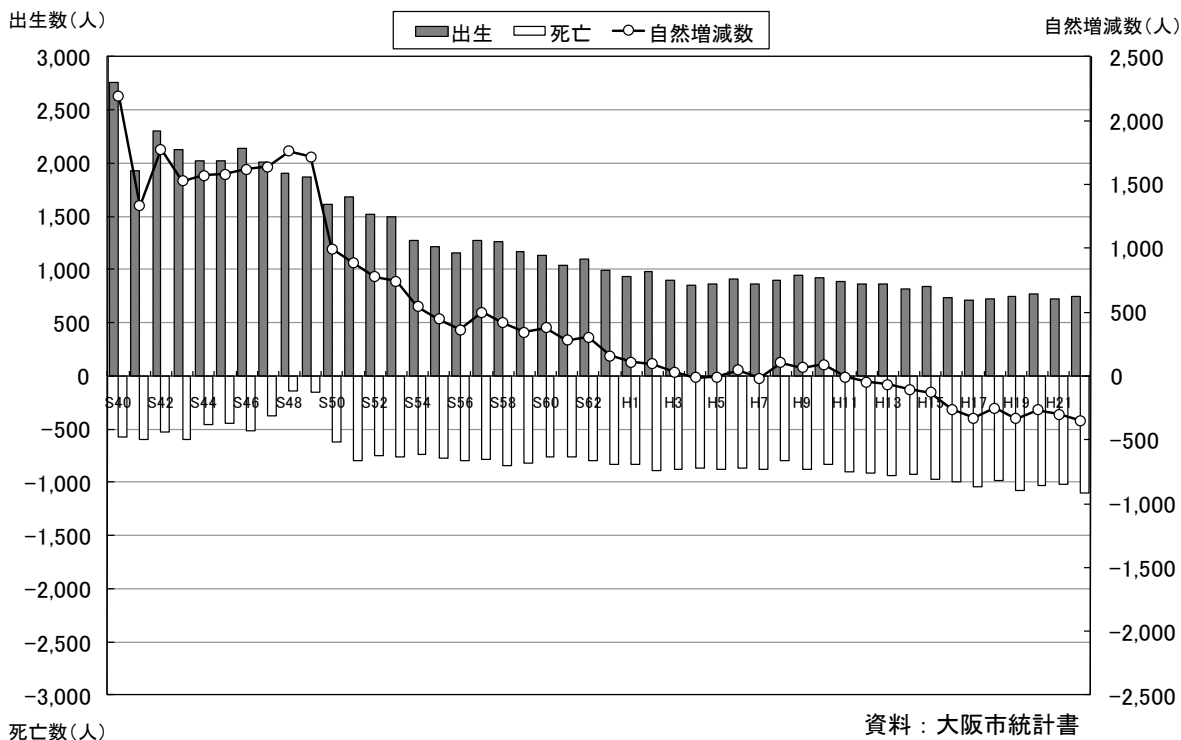


図2-4-16-4 出生・死亡・自然増減数の推移【旭区】

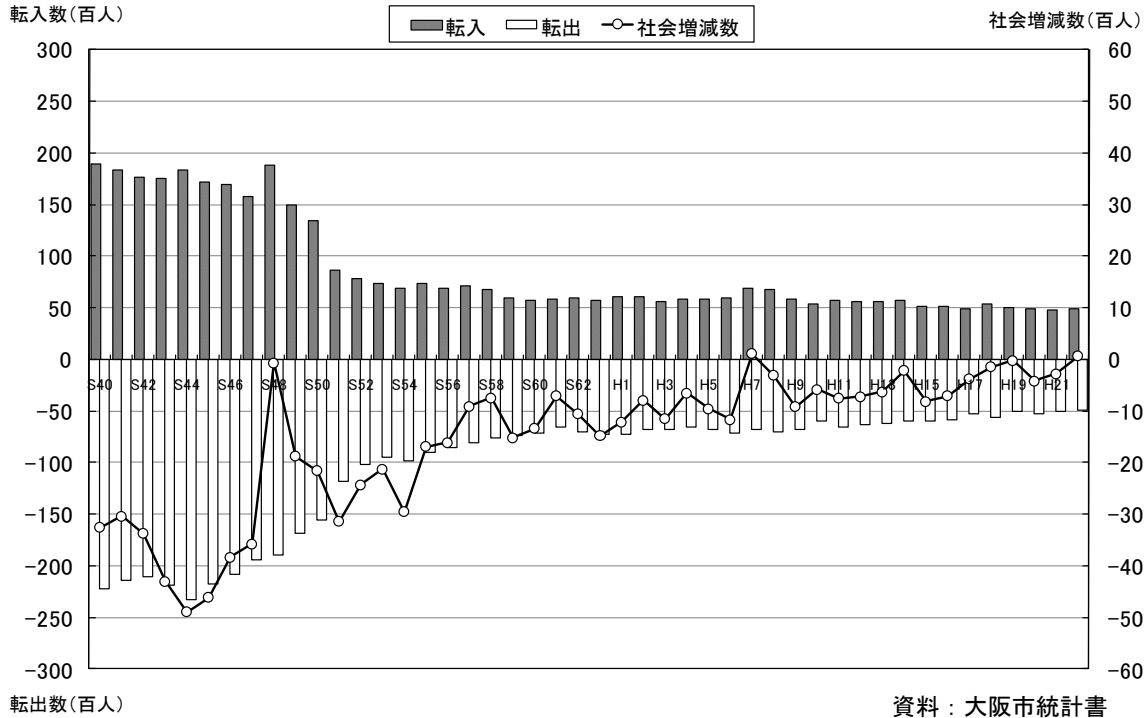
	出生数	死亡数	自然増減数		出生数	死亡数	自然増減数
昭和40年	2,762	569	2,193	昭和63年	993	833	160
昭和41年	1,931	596	1,335	平成元年	941	833	108
昭和42年	2,308	531	1,777	平成2年	979	885	94
昭和43年	2,128	600	1,528	平成3年	905	873	32
昭和44年	2,028	456	1,572	平成4年	851	863	△12
昭和45年	2,023	444	1,579	平成5年	870	879	△9
昭和46年	2,137	517	1,620	平成6年	912	865	47
昭和47年	2,017	375	1,642	平成7年	862	880	△18
昭和48年	1,904	140	1,764	平成8年	901	797	104
昭和49年	1,866	150	1,716	平成9年	944	880	64
昭和50年	1,610	615	995	平成10年	920	828	92
昭和51年	1,679	796	883	平成11年	890	896	△6
昭和52年	1,524	746	778	平成12年	864	910	△46
昭和53年	1,502	760	742	平成13年	867	935	△68
昭和54年	1,276	733	543	平成14年	822	928	△106
昭和55年	1,218	773	445	平成15年	839	968	△129
昭和56年	1,154	790	364	平成16年	734	996	△262
昭和57年	1,276	778	498	平成17年	713	1,044	△331
昭和58年	1,263	847	416	平成18年	730	979	△249
昭和59年	1,167	823	344	平成19年	746	1,079	△333
昭和60年	1,138	762	376	平成20年	770	1,035	△265
昭和61年	1,044	765	279	平成21年	723	1,022	△299
昭和62年	1,097	790	307	平成22年	748	1,095	△347

資料：大阪市統計書

#### 4. 社会動態

・昭和40年から社会減少が続いたが、次第に小幅になり、平成22年は平成7年以来の社会増加となった。

図表2-4-16-5 転入・転出・社会増減数の推移【旭区】



資料：大阪市統計書

図2-4-16-6 転入・転出・社会増減数の推移【旭区】

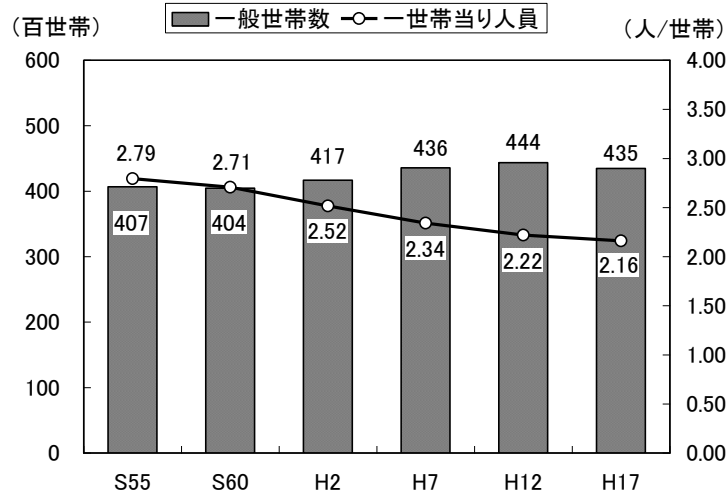
	転入数	転出数	社会増減数		転入数	転出数	社会増減数
昭和40年	18,926	22,188	△3,262	昭和63年	5,728	7,204	△1,476
昭和41年	18,368	21,399	△3,031	平成元年	6,055	7,266	△1,211
昭和42年	17,702	21,079	△3,377	平成2年	6,024	6,819	△795
昭和43年	17,513	21,817	△4,304	平成3年	5,658	6,812	△1,154
昭和44年	18,363	23,255	△4,892	平成4年	5,878	6,526	△648
昭和45年	17,174	21,783	△4,609	平成5年	5,792	6,747	△955
昭和46年	16,984	20,812	△3,828	平成6年	5,992	7,150	△1,158
昭和47年	15,847	19,418	△3,571	平成7年	6,847	6,738	109
昭和48年	18,882	18,942	△60	平成8年	6,727	7,032	△305
昭和49年	15,006	16,879	△1,873	平成9年	5,856	6,776	△920
昭和50年	13,415	15,570	△2,155	平成10年	5,405	5,981	△576
昭和51年	8,712	11,853	△3,141	平成11年	5,764	6,514	△750
昭和52年	7,789	10,216	△2,427	平成12年	5,632	6,347	△715
昭和53年	7,364	9,492	△2,128	平成13年	5,585	6,206	△621
昭和54年	6,875	9,834	△2,959	平成14年	5,711	5,932	△221
昭和55年	7,330	9,017	△1,687	平成15年	5,142	5,953	△811
昭和56年	6,881	8,490	△1,609	平成16年	5,101	5,807	△706
昭和57年	7,125	8,029	△904	平成17年	4,941	5,320	△379
昭和58年	6,827	7,565	△738	平成18年	5,422	5,566	△144
昭和59年	5,909	7,422	△1,513	平成19年	5,069	5,087	△18
昭和60年	5,743	7,081	△1,338	平成20年	4,854	5,264	△410
昭和61年	5,890	6,600	△710	平成21年	4,802	5,078	△276
昭和62年	5,980	7,041	△1,061	平成22年	4,925	4,859	66

資料：大阪市統計書

## 5. 一般世帯数と一世帯当り人員数

・世帯数は減少に転じている。一世帯当り人員は平成17年に市全体を上回った。

図表2-4-16-7 一般世帯数と一世帯当り人員の推移【旭区】



		S55	S60	H2	H7	H12	H17
旭区	一般世帯数	40,672	40,441	41,672	43,550	44,360	43,461
	一世帯当り人員	2.79	2.71	2.52	2.34	2.22	2.16
大阪市	一世帯当り人員	2.83	2.71	2.53	2.36	2.22	2.12

単位：一般世帯数（人） 一世帯当り人員（人/世帯）

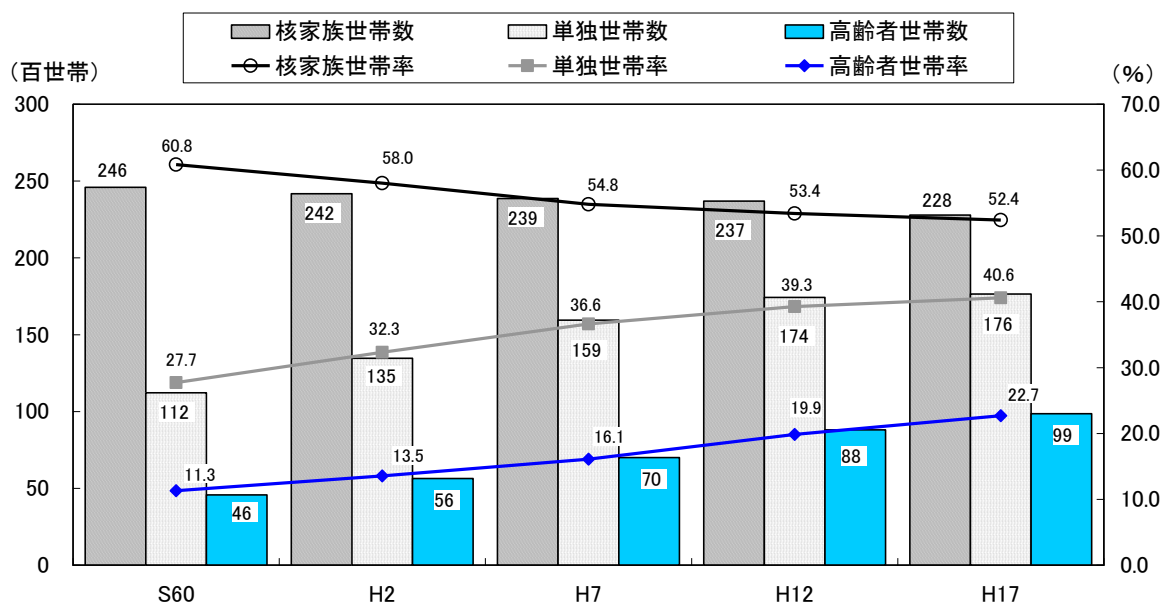
資料：国勢調査

※S55は普通世帯、S60以降は一般世帯

## 6. 世帯の状況

・核家族世帯数は微減傾向で、単独世帯数は増加。高齢者世帯数が大幅に増加している。

図表2-4-16-8 核家族世帯・単独世帯・高齢者世帯の推移【旭区】

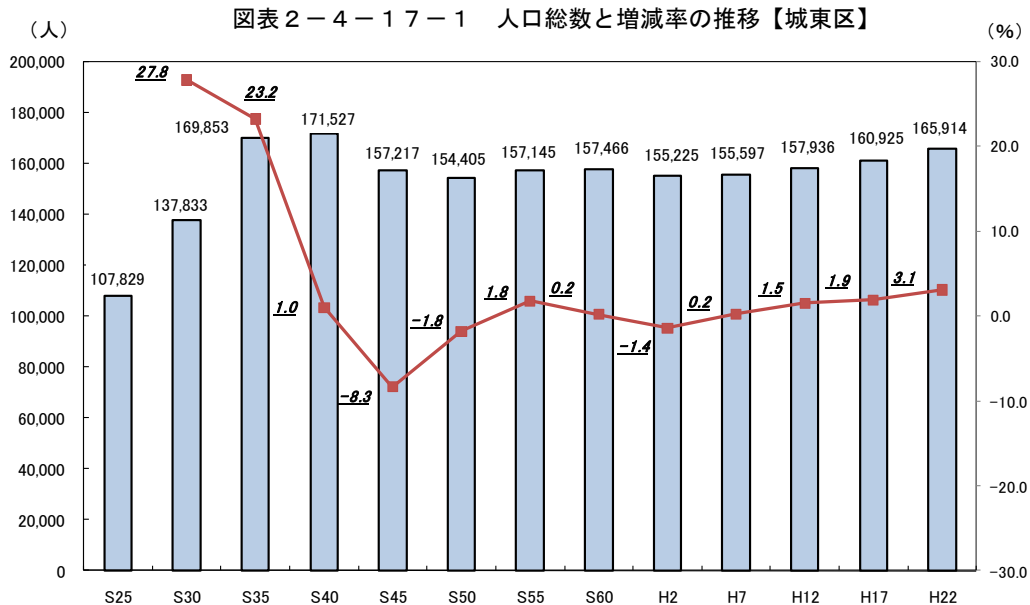


資料：国勢調査

## < 17 > 城東区

### 1. 人口の推移

・昭和50年を底にして、その後増加に転じた。平成22年ではピーク時の水準に迫っている。

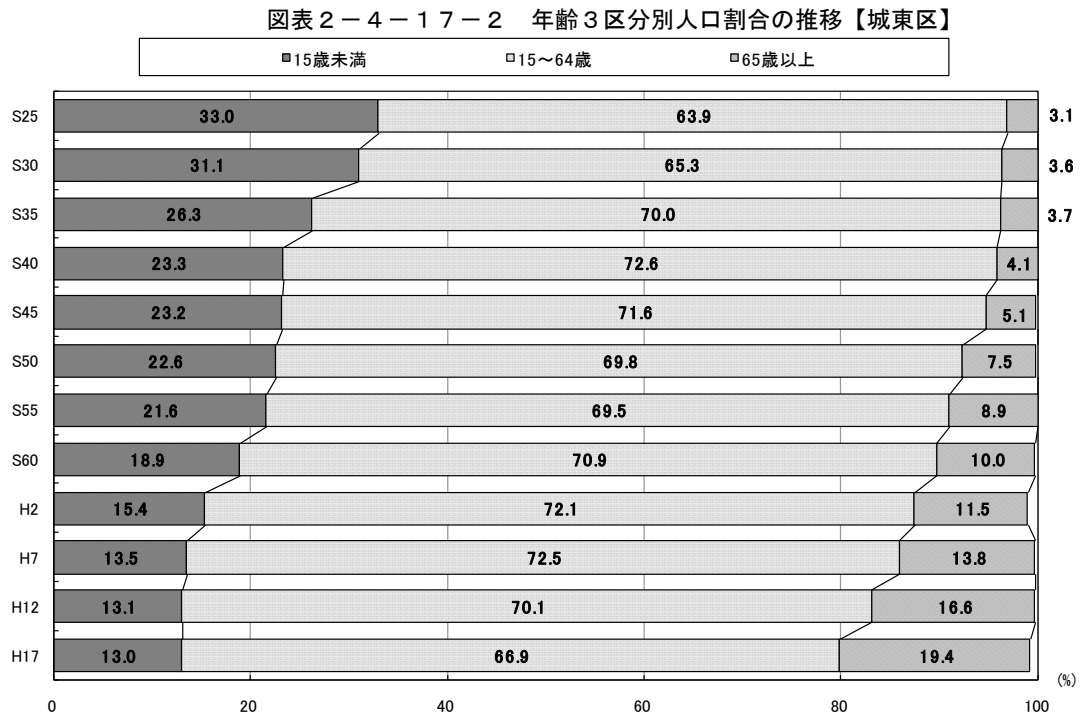


※昭和49年に城東区から鶴見区が分区した。  
それ以前の数値は分区後の区域で遡及して  
集計した数値である。

資料：国勢調査 ※H22は速報値

### 2. 年齢3区分別人口割合の推移

・年少人口割合が他区と比べ高く推移しており、平成17年では24区中5番目に高い。



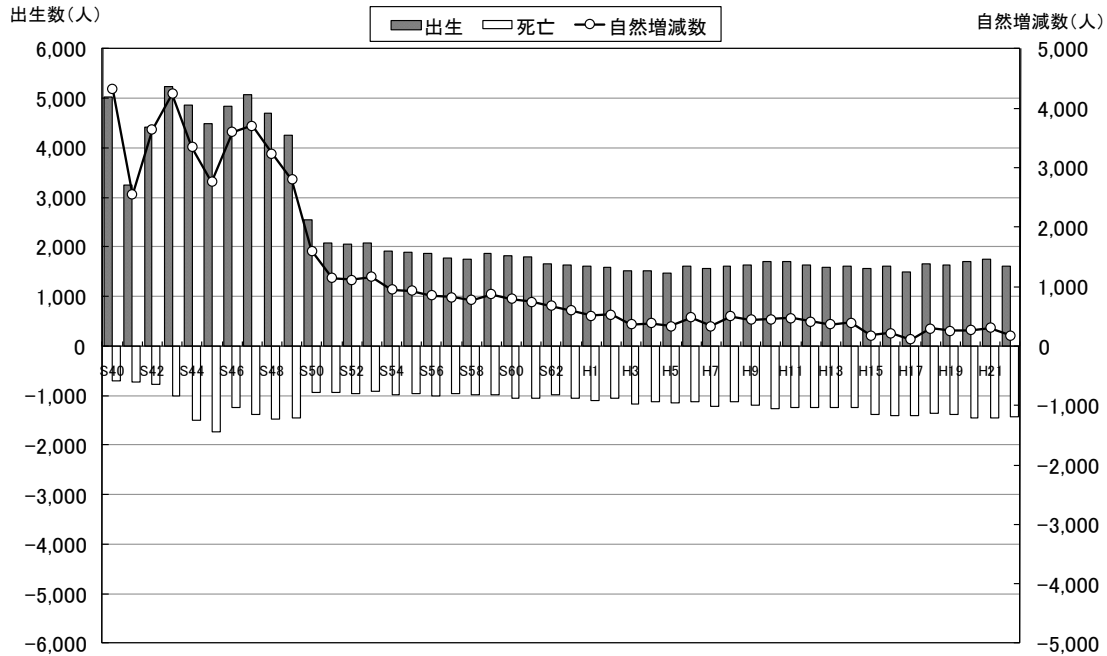
※昭和49年に城東区から鶴見区が分区した。  
それ以前の数値は分区後の区域で遡及して  
集計した数値である。

資料：国勢調査  
注：年齢「不詳」を含むため、合計値が100%にならない場合がある。

### 3. 自然動態

・出生数が多く、近年も1500人以上の出生数。自然増加を維持している。

図表 2-4-17-3 出生・死亡・自然増減数の推移【城東区】



出生数(人) 死亡数(人) ※昭和 49 年に城東区から鶴見区が分区したため、それ以前の数値は鶴見区域を含んだ数値である。 資料：大阪市統計書

図 2-4-17-4 出生・死亡・自然増減数の推移【城東区】

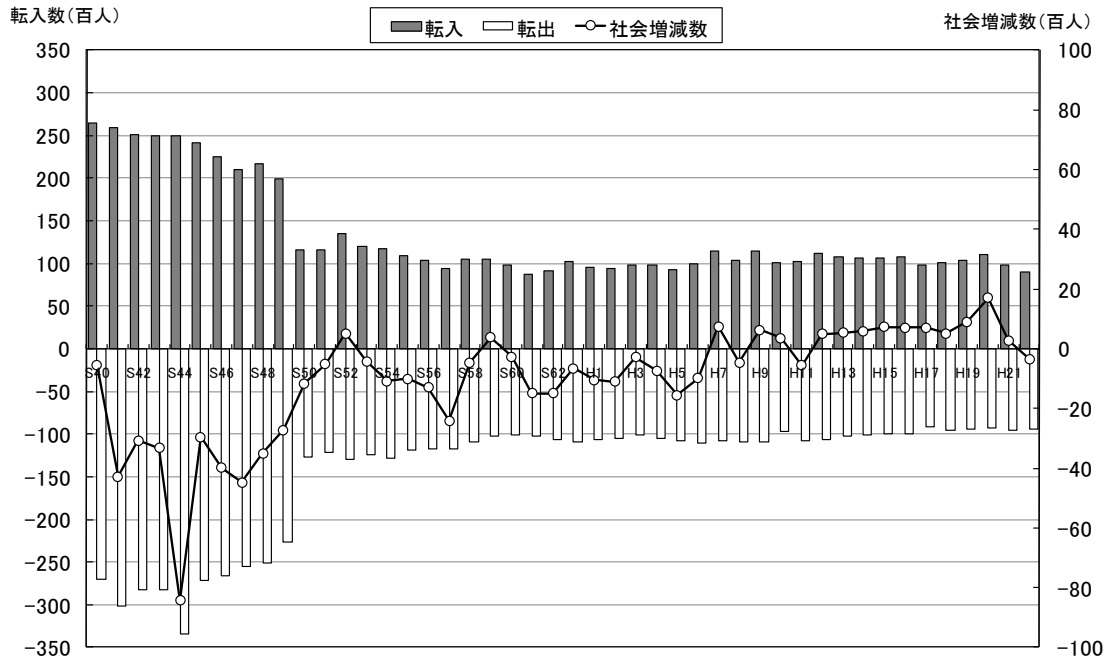
	出生数	死亡数	自然増減数		出生数	死亡数	自然増減数
昭和 40 年	5,024	699	4,325	昭和 63 年	1,638	1,042	596
昭和 41 年	3,260	714	2,546	平成元年	1,605	1,094	511
昭和 42 年	4,419	782	3,637	平成 2 年	1,587	1,054	533
昭和 43 年	5,246	1,006	4,240	平成 3 年	1,529	1,168	361
昭和 44 年	4,855	1,508	3,347	平成 4 年	1,514	1,132	382
昭和 45 年	4,490	1,730	2,760	平成 5 年	1,472	1,137	335
昭和 46 年	4,846	1,242	3,604	平成 6 年	1,610	1,124	486
昭和 47 年	5,087	1,378	3,709	平成 7 年	1,560	1,224	336
昭和 48 年	4,702	1,466	3,236	平成 8 年	1,614	1,115	499
昭和 49 年	4,254	1,456	2,798	平成 9 年	1,627	1,186	441
昭和 50 年	2,542	935	1,607	平成 10 年	1,718	1,264	454
昭和 51 年	2,088	942	1,146	平成 11 年	1,708	1,239	469
昭和 52 年	2,070	953	1,117	平成 12 年	1,644	1,233	411
昭和 53 年	2,083	914	1,169	平成 13 年	1,596	1,234	362
昭和 54 年	1,922	975	947	平成 14 年	1,620	1,230	390
昭和 55 年	1,884	958	926	平成 15 年	1,565	1,382	183
昭和 56 年	1,862	1,008	854	平成 16 年	1,619	1,404	215
昭和 57 年	1,777	956	821	平成 17 年	1,508	1,399	109
昭和 58 年	1,746	974	772	平成 18 年	1,661	1,364	297
昭和 59 年	1,863	994	869	平成 19 年	1,633	1,377	256
昭和 60 年	1,834	1,044	790	平成 20 年	1,703	1,439	264
昭和 61 年	1,810	1,062	748	平成 21 年	1,756	1,447	309
昭和 62 年	1,667	987	680	平成 22 年	1,616	1,437	179

※昭和 49 年に城東区から鶴見区が分区したため、それ以前の数値は鶴見区域を含んだ数値である。 資料：大阪市統計書

#### 4. 社会動態

・平成6年までほぼ社会減少。平成12年より増加に転じたが、平成22年は11年ぶりに社会減少となった。

図表2-4-17-5 転入・転出・社会増減数の推移【城東区】



※昭和49年に城東区から鶴見区が分区したため、それ以前の数値は鶴見区域を含んだ数値である。

資料：大阪市統計書

図2-4-17-6 転入・転出・社会増減数の推移【城東区】

	転入数	転出数	社会増減数		転入数	転出数	社会増減数
昭和40年	26,530	27,081	△551	昭和63年	10,277	10,926	△649
昭和41年	25,879	30,156	△4,277	平成元年	9,567	10,605	△1,038
昭和42年	25,175	28,252	△3,077	平成2年	9,347	10,448	△1,101
昭和43年	24,949	28,264	△3,315	平成3年	9,783	10,075	△292
昭和44年	25,014	33,452	△8,438	平成4年	9,770	10,496	△726
昭和45年	24,130	27,090	△2,960	平成5年	9,283	10,831	△1,548
昭和46年	22,571	26,562	△3,991	平成6年	10,021	10,999	△978
昭和47年	21,076	25,540	△4,464	平成7年	11,527	10,774	753
昭和48年	21,631	25,123	△3,492	平成8年	10,412	10,873	△461
昭和49年	19,981	22,704	△2,723	平成9年	11,514	10,874	640
昭和50年	11,554	12,713	△1,159	平成10年	10,030	9,673	357
昭和51年	11,587	12,105	△518	平成11年	10,258	10,810	△552
昭和52年	13,530	13,014	516	平成12年	11,187	10,688	499
昭和53年	12,044	12,463	△419	平成13年	10,772	10,236	536
昭和54年	11,795	12,879	△1,084	平成14年	10,626	10,039	587
昭和55年	10,903	11,910	△1,007	平成15年	10,641	9,902	739
昭和56年	10,431	11,728	△1,297	平成16年	10,725	10,018	707
昭和57年	9,366	11,769	△2,403	平成17年	9,813	9,105	708
昭和58年	10,527	10,980	△453	平成18年	10,142	9,617	525
昭和59年	10,551	10,171	380	平成19年	10,322	9,408	914
昭和60年	9,781	10,050	△269	平成20年	11,017	9,316	1,701
昭和61年	8,776	10,269	△1,493	平成21年	9,789	9,504	285
昭和62年	9,121	10,608	△1,487	平成22年	9,032	9,367	△335

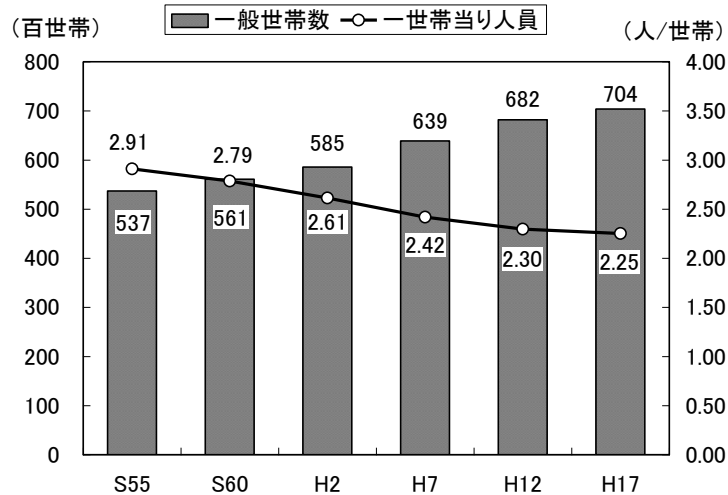
※昭和49年に城東区から鶴見区が分区したため、それ以前の数値は鶴見区域を含んだ数値である。

資料：大阪市統計書

## 5. 一般世帯数と一世帯当り人員数

・世帯数は大幅に増加。一世帯当り人員は市全体の水準を上回って推移している。

図表 2-4-17-7 一般世帯数と一世帯当り人員の推移【城東区】



		S55	S60	H2	H7	H12	H17
城東区	一般世帯数	53,679	56,071	58,543	63,881	68,170	70,356
	一世帯当り人員	2.91	2.79	2.61	2.42	2.30	2.25
大阪市	一世帯当り人員	2.83	2.71	2.53	2.36	2.22	2.12

単位：一般世帯数（人） 一世帯当り人員（人/世帯）

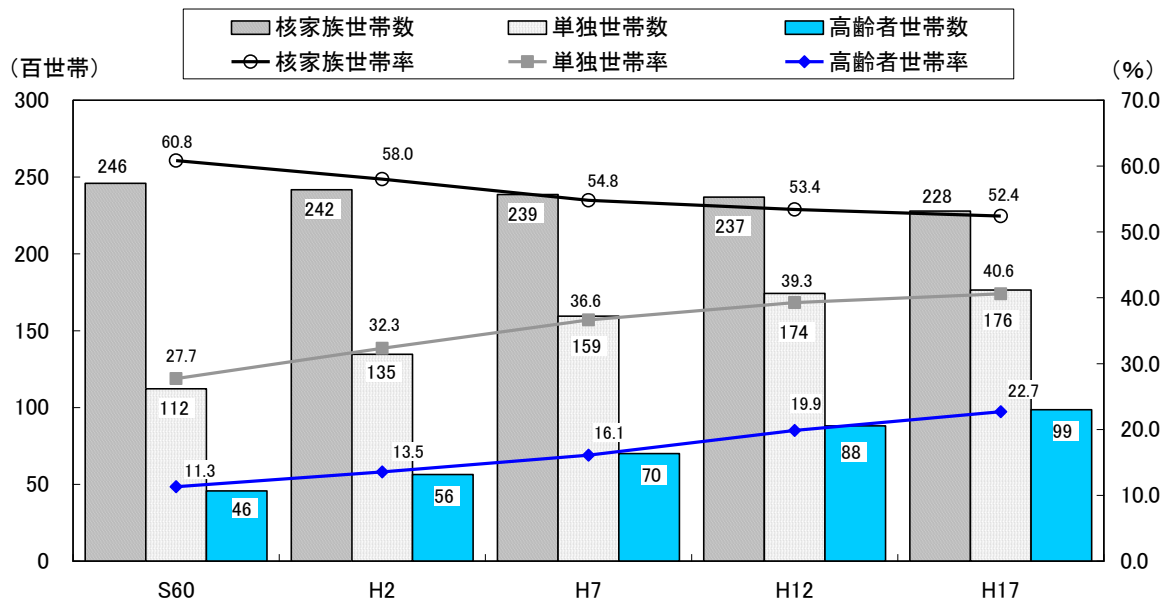
資料：国勢調査

※S55は普通世帯、S60以降は一般世帯

## 6. 世帯の状況

・核家族世帯数は微減。単独世帯率は市全体と同程度で上昇。高齢者世帯も増加している。

図表 2-4-17-8 核家族世帯・単独世帯・高齢者世帯の推移【城東区】



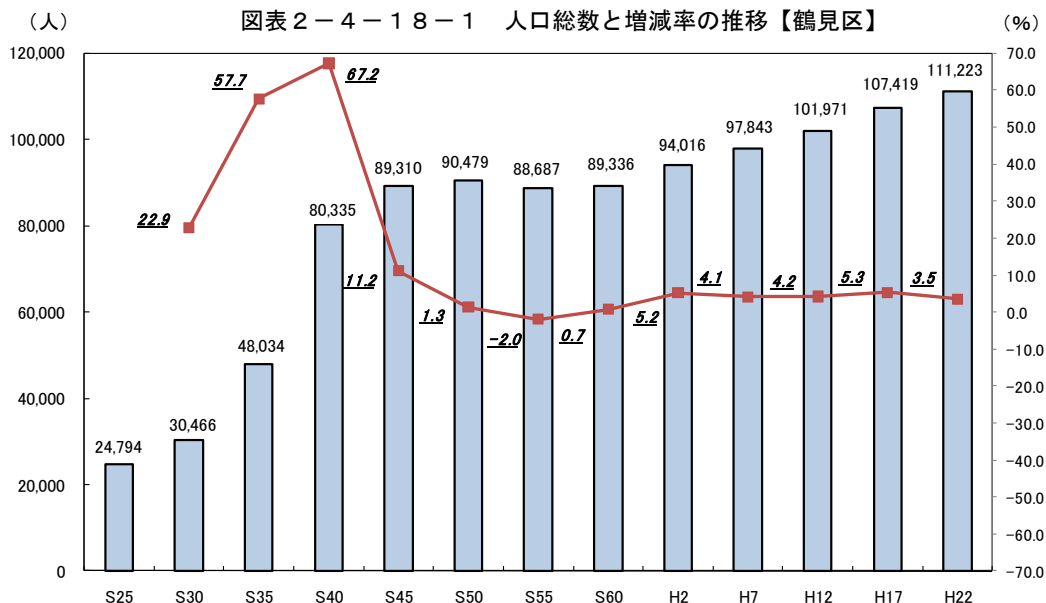
資料：国勢調査



## < 18 > 鶴見区

### 1. 人口の推移

・昭和 55 年を除き、安定して人口増加が続いている。



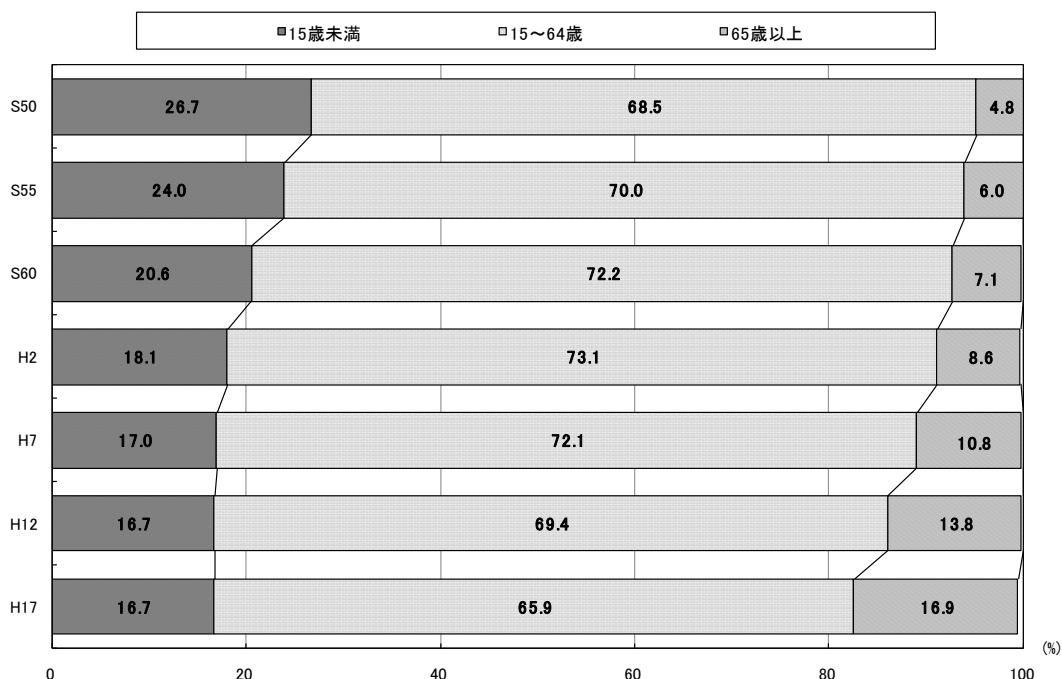
※鶴見区は昭和 49 年に城東区より分区して  
いるため、それ以前の数値は分区後の区域  
で遡及して集計した数値である。

資料：国勢調査 ※H22 は速報値

### 2. 年齢 3 区分別人口割合の推移

・平成 17 年では年少人口割合が 24 区中最も高く、老年人口割合は 2 番目に低くなっている。

図表 2-4-18-2 年齢 3 区分別人口割合の推移【鶴見区】



※鶴見区は昭和 49 年に城東区から分区したため、  
それ以前の年齢 3 区分別のデータは存在しない。

資料：国勢調査

注：年齢「不詳」を含むため、合計値が 100%  
にならない場合がある。

### 3. 自然動態

・自然増加を維持。しかし、平成22年の自然増加数はこれまでで最も少なくなっている。

図表2-4-18-3 出生・死亡・自然増減数の推移【鶴見区】

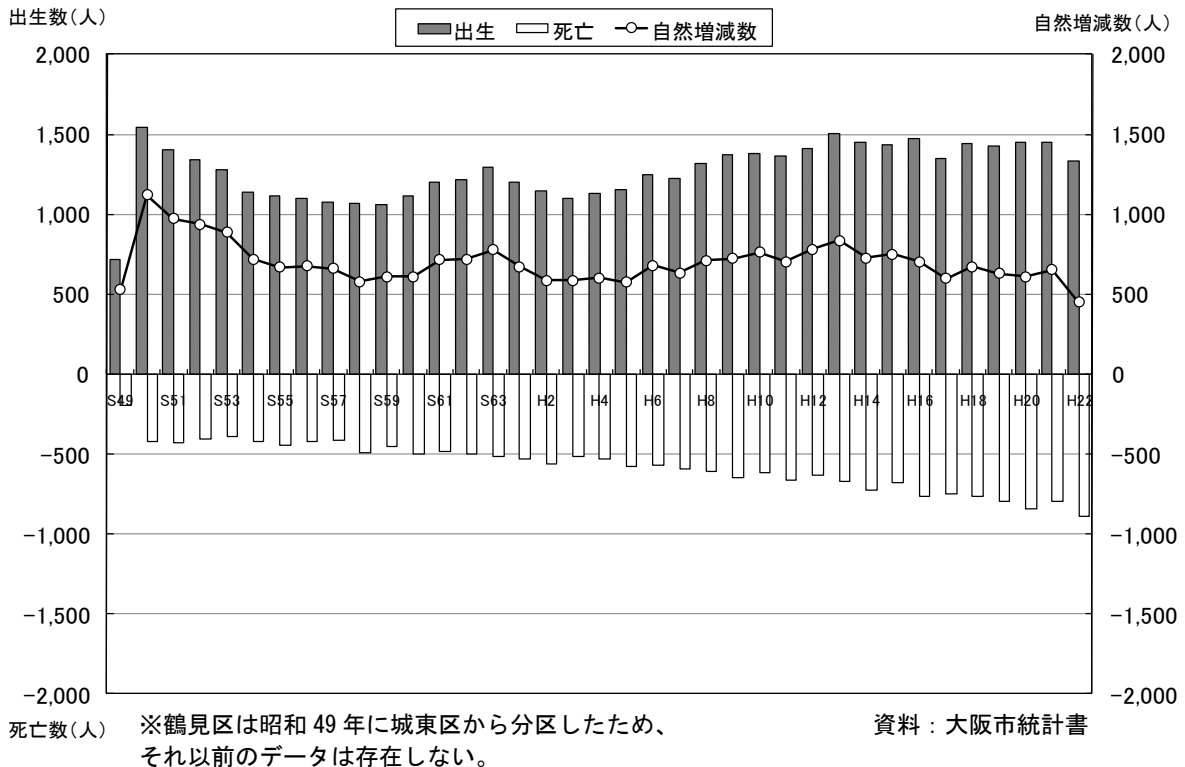


図2-4-18-4 出生・死亡・自然増減数の推移【鶴見区】

	出生数	死亡数	自然増減数		出生数	死亡数	自然増減数
昭和49年	720	192	528	平成5年	1,151	576	575
昭和50年	1,543	424	1,119	平成6年	1,247	567	680
昭和51年	1,402	431	971	平成7年	1,227	594	633
昭和52年	1,340	404	936	平成8年	1,316	605	711
昭和53年	1,278	391	887	平成9年	1,371	649	722
昭和54年	1,141	422	719	平成10年	1,378	616	762
昭和55年	1,116	448	668	平成11年	1,365	663	702
昭和56年	1,100	424	676	平成12年	1,410	629	781
昭和57年	1,075	413	662	平成13年	1,508	673	835
昭和58年	1,065	488	577	平成14年	1,450	722	728
昭和59年	1,062	453	609	平成15年	1,431	682	749
昭和60年	1,112	500	612	平成16年	1,470	765	705
昭和61年	1,203	487	716	平成17年	1,352	752	600
昭和62年	1,219	499	720	平成18年	1,441	767	674
昭和63年	1,293	517	776	平成19年	1,429	799	630
平成元年	1,203	532	671	平成20年	1,450	841	609
平成2年	1,144	559	585	平成21年	1,448	796	652
平成3年	1,098	512	586	平成22年	1,334	885	449
平成4年	1,132	529	603				

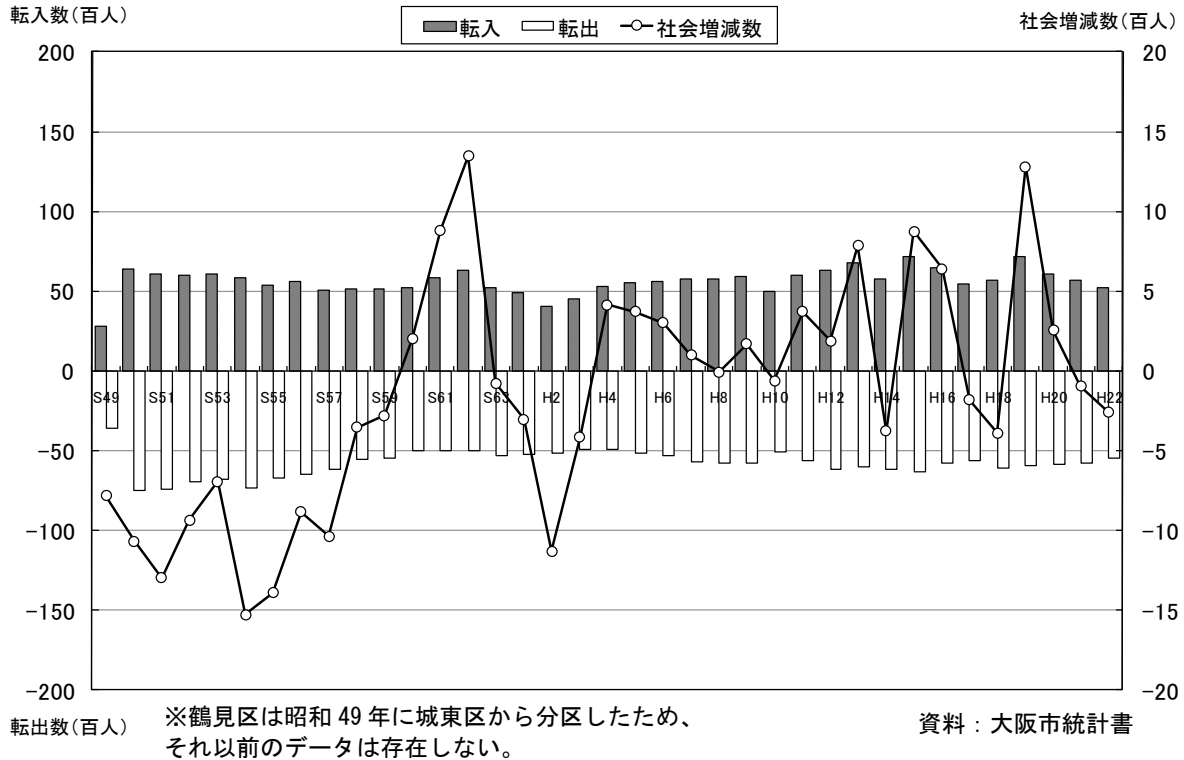
資料：大阪市統計書

※鶴見区は昭和49年に城東区から分区したため、それ以前のデータは存在しない。

#### 4. 社会動態

・増減の幅が大きいが、平成4年以降は社会増加の傾向にある。

図表2-4-18-5 転入・転出・社会増減数の推移【鶴見区】



※鶴見区は昭和49年に城東区から分区したため、それ以前のデータは存在しない。

図2-4-18-6 転入・転出・社会増減数の推移【鶴見区】

	転入数	転出数	社会増減数		転入数	転出数	社会増減数
昭和49年	2,772	3,554	△782	平成5年	5,549	5,177	372
昭和50年	6,415	7,483	△1,068	平成6年	5,581	5,279	302
昭和51年	6,096	7,394	△1,298	平成7年	5,804	5,703	101
昭和52年	6,005	6,939	△934	平成8年	5,738	5,742	△4
昭和53年	6,073	6,766	△693	平成9年	5,949	5,781	168
昭和54年	5,815	7,340	△1,525	平成10年	5,010	5,070	△60
昭和55年	5,355	6,743	△1,388	平成11年	6,025	5,652	373
昭和56年	5,585	6,468	△883	平成12年	6,349	6,159	190
昭和57年	5,106	6,142	△1,036	平成13年	6,758	5,974	784
昭和58年	5,180	5,531	△351	平成14年	5,753	6,131	△378
昭和59年	5,149	5,428	△279	平成15年	7,159	6,284	875
昭和60年	5,209	5,008	201	平成16年	6,438	5,797	641
昭和61年	5,835	4,953	882	平成17年	5,443	5,623	△180
昭和62年	6,342	4,996	1,346	平成18年	5,687	6,076	△389
昭和63年	5,203	5,279	△76	平成19年	7,193	5,913	1,280
平成元年	4,887	5,188	△301	平成20年	6,089	5,833	256
平成2年	4,023	5,152	△1,129	平成21年	5,692	5,787	△95
平成3年	4,490	4,905	△415	平成22年	5,202	5,463	△261
平成4年	5,341	4,927	414				

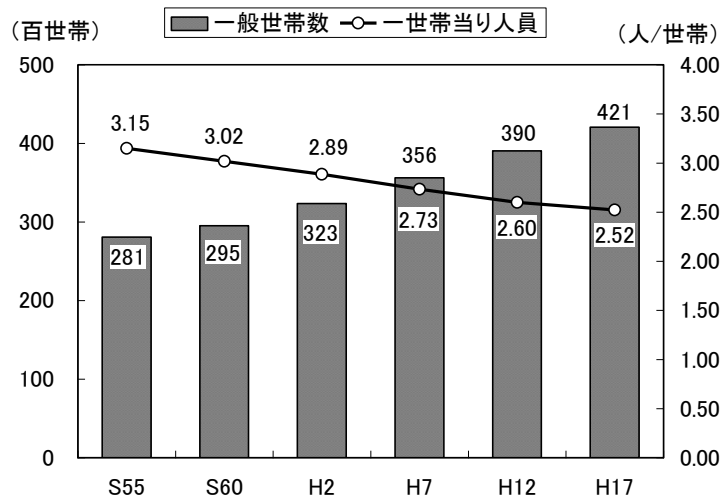
資料：大阪市統計書

※鶴見区は昭和49年に城東区から分区したため、それ以前のデータは存在しない。

## 5. 一般世帯数と一世帯当り人員数

・世帯数は増加が続いており、一世帯当り人員は市全体の水準より高く推移している。

図表 2-4-18-7 一般世帯数と一世帯当り人員の推移【鶴見区】



		S55	S60	H2	H7	H12	H17
鶴見区	一般世帯数	28,067	29,525	32,346	35,609	39,024	42,056
	一世帯当り人員	3.15	3.02	2.89	2.73	2.60	2.52
大阪市	一世帯当り人員	2.83	2.71	2.53	2.36	2.22	2.12

単位：一般世帯数（人） 一世帯当り人員（人/世帯）

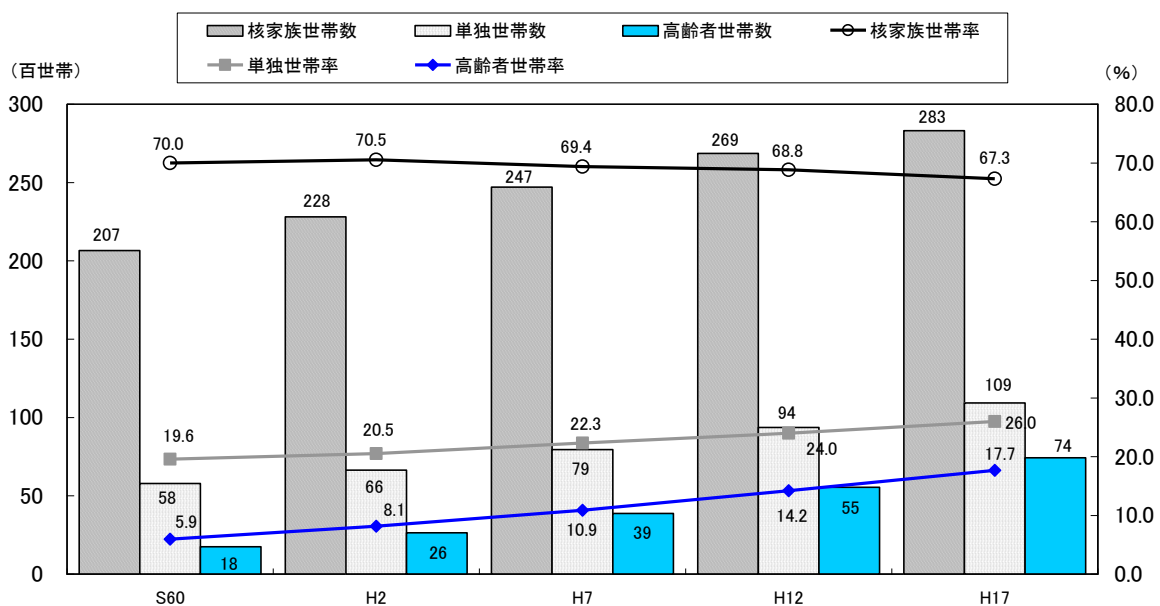
資料：国勢調査

※S55は普通世帯、S60以降は一般世帯

## 6. 世帯の状況

・核家族世帯数は増加しており、割合も高い。単独世帯数、高齢者世帯数は増加しているが、割合は低くなっている。

図表 2-4-18-8 核家族世帯・単独世帯・高齢者世帯の推移【鶴見区】



資料：国勢調査